

平成22年 5月14日
原子力安全対策課
(22-22)
<16時資料配付>

大飯発電所1号機の原子炉起動について

このことについて、関西電力株式会社から下記のとおり連絡を受けた。

記

大飯発電所1号機（加圧水型軽水炉；定格電気出力117.5万kW）は、漏えい燃料集合体を特定するため、平成22年2月6日に原子炉を停止した。

調査の結果、2体の燃料集合体に漏えいが認められ、2体の燃料集合体は今後使用せず、今回漏えいした燃料集合体と同一メーカー、同一時期に製造された燃料集合体については、現在実施中の照射後試験等を踏まえた漏えい原因が判明するまで、再使用しないこととした。

対策として、漏えい発生の可能性を低減させるため、漏えい原因が判明するまでは、漏えい燃料集合体と同型の燃料について、これまでに漏えいが発生した燃焼度以上とならないよう、燃焼度を管理（ウラン燃料は38,000MWd/t未満、ガドリニア入りウラン燃料は36,000MWd/t未満）するとともに、炉心中心には装荷せず、運転中は一次冷却材中の放射能濃度の監視を強化することとした。

また、漏えい発生に対する一次冷却材の流れの影響を緩和するために、燃料設計の一部変更について検討を行うこととした。

今後、燃料装荷等必要な作業を行い、5月中旬に原子炉を起動する予定である。

[平成22年4月28日 「原因と対策」記者発表済]

燃料取替作業として、燃料集合体全数193体のうち、漏えい燃料集合体2体を含む同一メーカー、同一時期に製造された燃料集合体8体および燃焼度を管理するために取り替える燃料集合体28体の合計36体を取り替えた（装荷した36体の燃料のうち20体は新燃料集合体で、55,000MWd/t）。

今後、原子炉起動準備を整えて、5月16日に原子炉を起動し、同日に臨界に達し、17日に発電を再開する予定である。

問い合わせ先(担当：内園) 内線2353・直通0776(20)0314
--